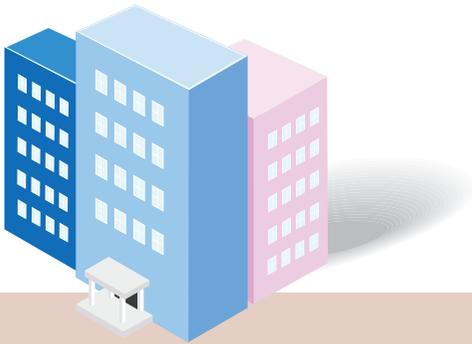


在宅ワーカーと企業の マッチング 好事例集



Homeworker's Desktop





Homeworker's Desktop

目次

発注者向けコンテンツ

- 1 在宅ワーカー活用のメリット 04
- 2 在宅ワーカーへの発注の流れ 06
- 3 在宅ワーカーの探し方 08

在宅ワーカー向けコンテンツ

- 4 在宅ワークの実態とメリット 10

マッチング好事例集

- ケース ① 株式会社 KAZE&Co. 12
- ケース ② 株式会社テンポスドットコム 14
- ケース ③ web ショップさいたま 16
- ケース ④ 株式会社キャリア・ママ 18
- ケース ⑤ 一般社団法人 防水工事推進協会 20
- ケース ⑥ 東京反訳株式会社 22
- ケース ⑦ 株式会社 grooo 24
- ケース ⑧ 株式会社 Kaeru 26
- ケース ⑨ 株式会社ディーラリエ 28
- ケース ⑩ ホームページテック株式会社 30

1 在宅ワーカー活用のメリット

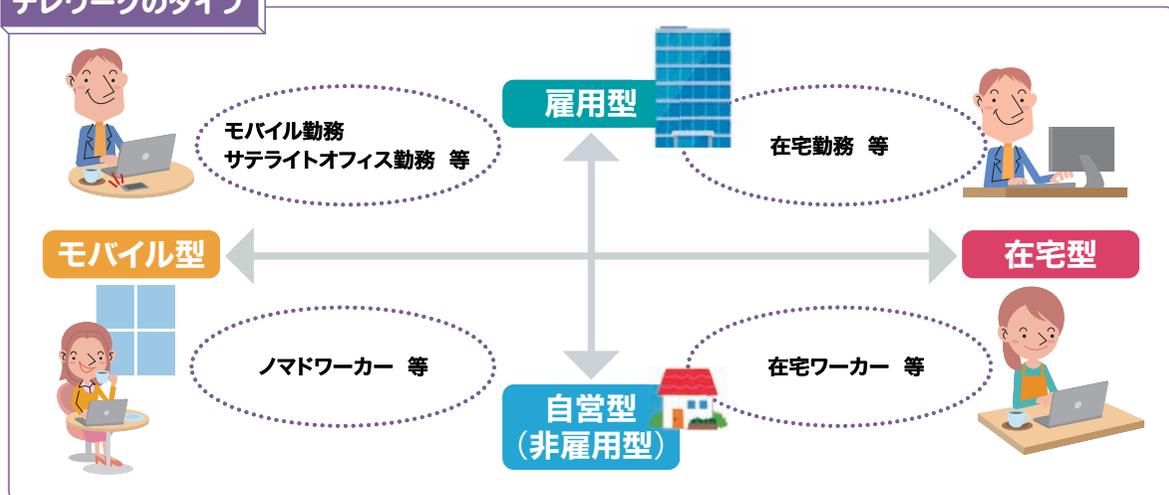
はじめに

少子高齢化による労働力減少が深刻な問題になっています。その解決策の一つとして注目されているのが、テレワーク（ICTを活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方）です。働きたいのに育児や介護などによって働けない人たちなどにとって、働ける機会が広がると期待されています。

テレワークは、下図に示すように企業との雇用関係の有無や働く場所によって数タイプに分かれます。

そのうち、本書では、企業と雇用関係のない請負契約などに基づく自営的な働き方（在宅ワーク）について、活用のメリットや実態、マッチングの方法等を紹介します。

テレワークのタイプ



在宅ワーカーとは

在宅ワーカーとは、クライアント（発注者）から仕事の依頼を受け、パソコンやインターネットなどを使って在宅で仕事をする個人事業主のことです。具体的な仕事としては「データ入力」、「音声起こし」、「ホームページ作成」、「翻訳」、「設計・製図」などがあります。

育児や介護などのために企業に雇用されて働くことが困難な人たちも、それぞれの事情

に合わせて柔軟に働くことができ、ワーク・ライフ・バランスを実現できる働き方として注目されています。

在宅ワーカーの数は、2013年時点で約126万4千人と推計されています（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「平成25年度在宅就業調査」（厚生労働省委託事業））。

在宅ワーカーを活用するメリット

在宅ワーカーは、さまざまなスキルや知識を持っており、単発の仕事にも対応してくれるので、社員を雇用するよりもコストが低く抑えられます。また、オフィススペースの削減、

光熱費等の経費の削減にもつながります。さらに、各在宅ワーカーに仕事を分散することで、災害などの際にも業務を継続することができます。

人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまな分野の業務を依頼可能 ● 専門性・即戦力のある人材を活用 	柔軟性	<ul style="list-style-type: none"> ● 少量の発注にも対応 ● 急ぎの発注にも対応 ● 繁忙期だけの活用も
コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要な時だけ発注でき、社員を雇用するよりも人件費を抑えられる ● 専門スタッフの育成不要 ● オフィス等の設備費削減 ● 社会保険料、交通費等が不要 ● 光熱費等の経費削減 	事業継続性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害など不測の事態でも事業継続が可能

活用している企業の声

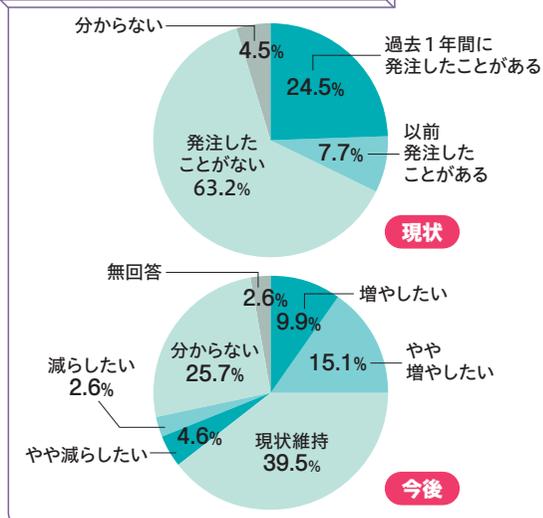
「社内では対応しきれない大量の作業を仕上げてもらえる」(テンポスドットコム)
「自社にないスキルを必要な時に活用できる」(Kaeru)
「潜在している優秀な労働力に活躍の場を提供することは意義のあることだと思う」(ディーラリエ)

活用の実態

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「平成24年度在宅就業調査」(厚生労働省委託事業)によると、調査対象企業の約32%が、過去に在宅ワーカーに直接発注したことがあると答えています。発注の理由は「専門的業務への対応」が最も多く44.1%。「繁忙期への対応」(30.3%)、「人件費の削減」(20.4%)という理由もあります。

今後の在宅ワーカーへの発注見通しについては、「増やしたい」「やや増やしたい」を合わせて25%。「現状維持」39.5%を合わせると、約65%が在宅ワーカーの活用に積極的と言えます。

在宅ワーカーへの発注について



在宅ワークになじむ仕事

在宅ワーカーに依頼する業務はさまざまです。最近の傾向として、web開発、ホームページ制作など、インターネット関連の作業が増

えているようです。また、SEO対策^{※1}の一環として、ブログやオウンドメディア^{※2}などのライティングの仕事も増えています。

※1 特定のキーワードで検索した際、上位に表示されるための対策 ※2 企業が自社で運営するwebマガジンやブログなどのメディア

編集系業務	ライティング、音声起こし、誌面の編集、コピー作成など
ビジネス支援系業務	調査、マーケティング、コンサルティングなど
web 関連系業務	ホームページ制作、web 管理、ネットショップ運営など
開発系業務	プログラミング、システム開発、ネットワーク管理など
デザイン系業務	DTP デザイン、イラスト制作、動画制作・編集など
教育・語学系業務	e ラーニングチューター、翻訳など

在宅ワーカーを活用するために必要なもの

インターネット環境とパソコンがあれば、新たに施設・設備は不要です。在宅ワーカーの募集や、日々の業務連絡のために専用のwebサイ

トを開設している企業もありますが、多くの企業は、メールやスカイプなどのツールを使って在宅ワーカーとコミュニケーションをしています。

在宅ワーカーへの発注から納品まで

在宅ワーカーへの発注から納品までの一般的な流れは、次のようになっています。

① 発注内容の決定・募集

自社の業務内容を整理して、費用対効果を考慮し、自社で対応する業務、在宅ワーカーに依頼する業務を切り分けます。依頼業務が決まったら在宅ワーカーを募集します。募集の際には、依頼内容や条件をなるべく詳しく明記することが、ミスマッチを防ぐポイントです。依頼内容は仕様書としてまとめておくと間違いがありません。(募集方法は8ページを参照)

仕様書に記載すべき項目例

- 業務内容の詳細
- 必要なスキルや資格
- 標準的な作業時間・期間
- 納期
- 納品方法
- 報酬額
- 業務に必要なソフトウェアや機器類
- その他求める条件
- 募集スケジュール(応募締切・結果の通知予定等)

② 在宅ワーカーの選定

応募者のスキルや資格、過去の実績などを見て、業務を依頼する在宅ワーカーを選定します。在宅ワーカーのスキルが期待したレベルでなかった等のトラブルを避けるため、簡単な試験やトライアル（試作）を行う場合があります。

家庭の状況や1日にどのくらいの時間働けるのか、時間管理のできる人かなど、スキルや実績だけではわからないことも多いので、可能なら面接を行うことが望ましいでしょう。面接できない場合でも、メールの文面やタイミングなどから、ある程度人物像をつかむことができます。

③ 契約・発注

在宅ワーカーから見積書を提出してもらい、双方合意したら、業務委託契約書を交わして業務を発注します。契約時に発注者が留意すべき事項が、『在宅ワークの適正な実施のためのガイドライン』にまとめられているので、参照してください（http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/zaitaku/100728-1.html）。

④ 進捗管理、納品・検収

納期直前になってあわてることがないように、こまめに途中経過を確認しましょう。納品物のイメージが期待したものと違った等のトラブルも、途中で早めに気づいて軌道修正することで回避することができます。納品されたら、発注した内容と相違がないか確認します（検収）。

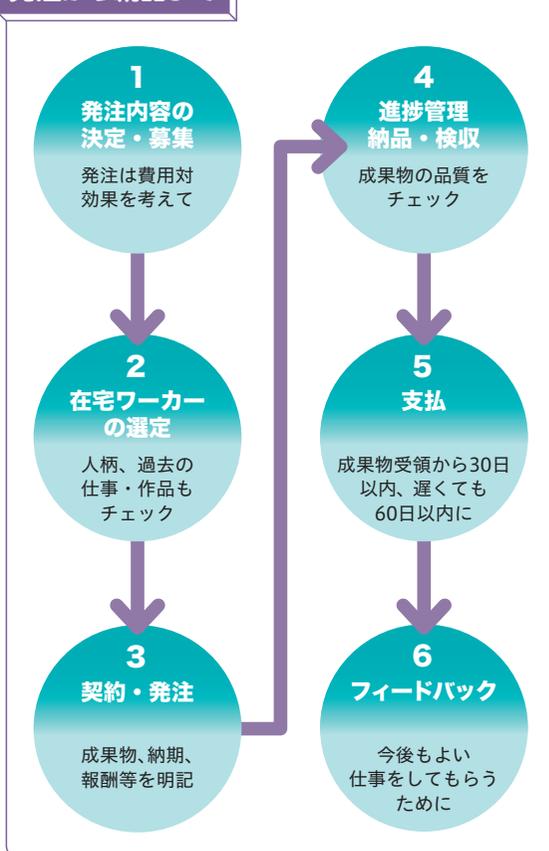
⑤ 支払

納品物の検収を終了後、報酬を在宅ワーカーに支払います。在宅ワーカーから請求書を発行してもらい、契約時に決定した支払期日までに支払います。支払期日は、前述のガイドラインで、成果物を受け取った日から30日以内、遅くても60日以内とするよう定められています。

⑥ フィードバック

納品物や作業の進行について、よかった点、改善してほしい点などのフィードバックを行います。在宅ワーカーと信頼関係を築き、次回もよい仕事をしていただくためにも必要なプロセスです。

発注から納品まで



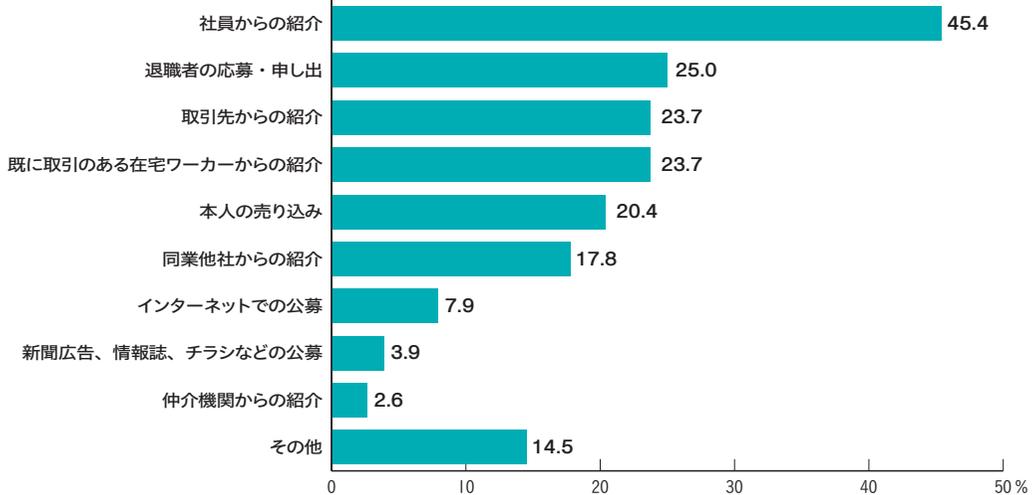
紹介

「平成24年度在宅就業調査」によると、募集方法で最も多いのは「社員からの紹介」(45.4%)、以下「退職者の応募・申し出」(25.0%)、「取引先からの紹介」「既に取引のある在宅ワーカーからの紹介」(ともに23.7%)と

続きます。

知っている人からの紹介であれば、広告費などの費用もかからず、在宅ワーカーのスキルや人柄も把握しやすく安心感があります。

在宅ワーカーの募集方法



出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「平成24年度在宅就業調査」(厚生労働省委託事業)

広告で募集

新聞、雑誌、web広告等を利用することにより、幅広く公募することができますが、広告料がかかります。紙媒体よりもwebのほうが広告料は安価な場合が多いです。在宅ワ

ーカーは、パソコンやインターネットを使用して仕事をすることが前提なので、webによる告知のほうがコストパフォーマンスが高いと言えます。

仲介業者(エージェント)を利用

業務を仲介業者に委託し、仲介業者はその業務を契約または登録している在宅ワーカーに発注します。仲介料はかかりますが、在宅ワーカーとの契約、報酬の支払い業務、スキ

ルチェックや進捗管理は仲介業者が担当してくれるため、社内でこれらの作業をする必要がない点がメリットです。

マッチングイベントを利用

発注者と在宅ワーカーが会う、合同説明会が行われる場合があります。ブース出展、ミニセミナー、個別相談コーナーなどのイベントを通じて互いの理解を深め合います。過

去の作品を持参する在宅ワーカーも多いので、在宅ワーカーのスキルや人柄を自分の目で見て確かめられることが最大のメリットです。

クラウドソーシングサイトを利用

発注者と在宅ワーカーをインターネット上でマッチングするのがクラウドソーシングサイトです。発注者が依頼概要をクラウドソーシングサイトに投稿し、関心のある在宅ワーカーは見積や企画などを提案します。互いに

条件が合えば、契約へと進みます。実際に会うことはできませんが、幅広くさまざまな分野の在宅ワーカーに募集を見てもらえることがメリットです。



信頼できるワーカーの探し方



「納期は守ってくれるだろうか」「要望通りの成果物が仕上がるだろうか」など、顔を合わせることが少ないだけに、在宅ワーカーに仕事を発注するには不安が伴います。優秀で信頼できる在宅ワーカーを獲得することはどの企業にとっても大きな課題です。

スキルについては、過去の実績からある程度把握できますが、人柄や時間管理能力など、発注してみなければわからないことも多いものです。

12ページからのマッチング事例で紹介している企業からは、「最初は小さな仕事、納期に余裕のある仕事を発注し様子を見る」「トライアル試験を実施する」「採用前に性格診断を行う」などの声があり、事業所ごとに工夫をしているようです。



グラフの出典は全て：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「平成24年度在宅就業調査」(厚生労働省委託事業)

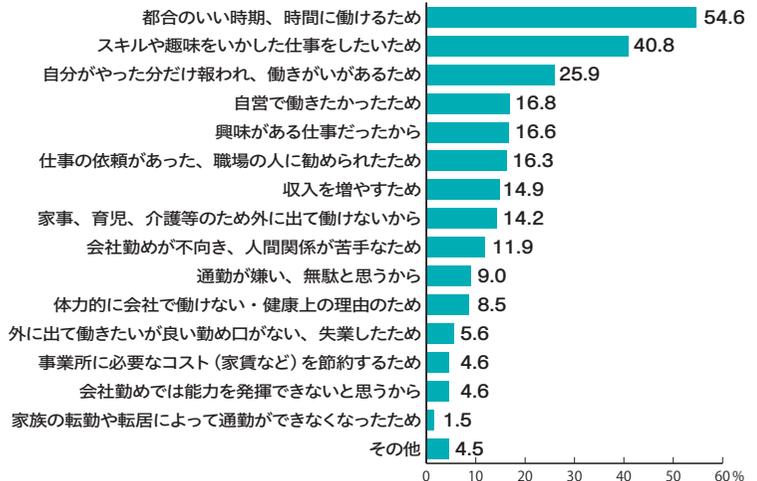
在宅ワークのメリット

在宅ワークを始めた理由は、「都合のいい時期、時間に働けるため」が最も多く54.6%、以下、「スキルや趣味をいかした仕事をしたいため」(40.8%)、「自分がやった分だけ報われ、働きがいがあるため」(25.9%)と続きます。これは、そのまま在宅ワークのメリットと言えるでしょう。

12ページからの事例では、「自分の裁量で時間が使える」「家事育児と両立できる」「ライフスタイルに合わせて働ける」「通勤

時間がかからない」などの声が挙がっています。

在宅ワークを始めた理由



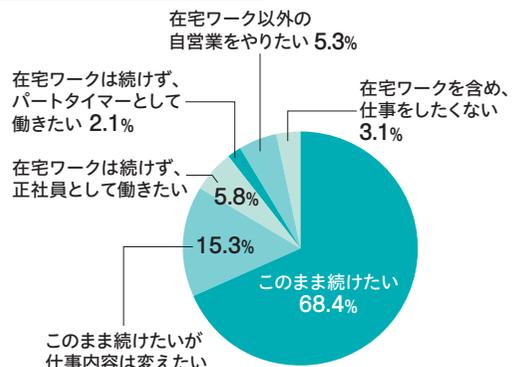
在宅ワークの満足度

下図は、在宅ワークの継続の意思を聞いたものです。7割近くがこのまま継続したいと答えており、満足度の高さがうかがえます。12ページからの事例でも、「自分の裁量で時間が使える」「働いた分だけ報酬が得られる」「スキルが活かせる」などの理由から在宅ワークという働き方に満足しているワーカーがいることがわかります。仕事の内容については、「子どもが成長したら別の仕事にもチャレンジしたい」など、上昇志向がうかがえる声があります。

一方で、在宅ワーカーに過去1年以内に経験した発注者とのトラブルについて聞いたところ、「(デザインの変更など)仕事内容の一方的な変更」「報酬の支払い遅延」「不当に低い報酬額の決定」などがあります。在宅ワークに関するト

ラブルについては、発注者や仲介機関などとよく話し合しましょう。政府にも各種相談窓口があります。(詳しくは『在宅ワーカーのためのハンドブック』http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/zaitaku/100728-2.htmlをご覧ください。)

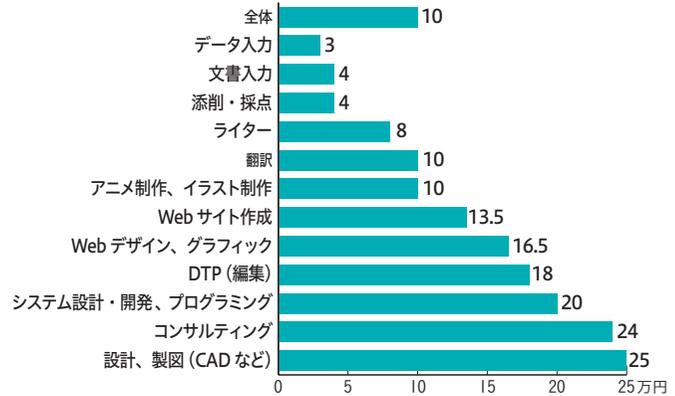
在宅ワークの継続意思



在宅ワークの報酬

在宅ワーカーの報酬は、職種によって大きな開きがありません。月収(中央値)で比較すると、データ入力や文書入力、ライターなどは3～8万円程度ですが、システム設計・開発、プログラミング、コンサルティング、設計、製図等の職種の場合、20～25万円となっています。

在宅ワーカーの平均月収



自分に合った在宅ワークの探し方

自分に合った仕事を探すためには、自己分析が必要です。

①なぜ在宅ワークをしたいのか(理由) ②これまでどんな仕事をしてきたのか(実績) ③資格・特技はあるか(強み) ④自分が好きなこと・向いていることは何か(特性) ⑤やり

たい職種は何か(希望) ⑥1日どのくらい働きたいか(時間) ⑦月どのくらい収入を得たいか(お金) ⑧働く上で重視する条件(やりがい?収入?時間?など)は何か(価値観)、などを一度自分なりに明らかにしておきましょう。

仕事の探し方

① 求人に応募

インターネットの求人情報、新聞・チラシの求人広告などで探します。ただし、「簡単に儲かる」などの煽り文をうのみにしないこと。確かな会社なのか、自分にできる仕事なのか、慎重に判断しましょう。

② 仲介業者に登録

仲介業者とは発注者と在宅ワーカーの仲介役となって、企業から仕事を請け負い、その仕事を登録している在宅ワーカーに発注する業者のこと。仲介業者が営業活動や報酬の回収などを担当してくれるため、在宅ワーカーは仕事に専念することができます。即戦力が求められる場合が多いので、経験者のほうが有利です。

③ クラウドソーシングサイトに登録

webサイト上で、発注者と在宅ワーカーをマッチングさせるクラウドソーシングサイトに登録します。簡単な仕事から高レベルな仕事まで様々な仕事に出会えます。企業からの募集要項を見て興味のあるものには積極的に応募することでチャンスが広が

ります。

④ セミナーなどに参加

在宅ワーカーを対象に開催されている、スキルアップを目的とした実践的なセミナーや異業種交流会などに積極的に参加しましょう。仕事に関わっていきたくと思った人とは名刺交換しネットワークを広げておくことと仕事につながる可能性があります。ただし、主催者は信頼のおける団体かどうか、事前チェックを忘れず行いましょう。

⑤ 知人に紹介してもらう

知人や以前の勤め先などからの紹介で仕事を得られることは少なくありません。発注者側も全く知らない人よりも紹介の方が安心できるのです。日頃から、「在宅ワークでこういう仕事をしている」と身近な人たちにアピールすることも、立派な営業活動になります。

⑥ 自分で宣伝する

ホームページを作って自分にできる仕事や過去の事例を公開したり、名刺交換した人にダイレクトメールやメールマガジンを送ったりして売り込む方法もあります。

マッチング好事例集 ケース ① 株式会社 KAZE&Co.

所在地●神奈川県川崎市中原区丸子通2-682-48 資本金●3,000万円
発注者概要 代表取締役●松本一重 従業員数●37名 在宅ワーカー数●延べ数約45名(2016年度実績)
URL●<http://kaze-www.co.jp/> 事業内容●webマーケティング・web制作・システム開発等

事前のルール作り・マニュアル作りが成功の鍵

～「育児の合間に少しだけ」ワーカーのニーズに合わせて活用～

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

子育てサイトの立ち上げに当たり、良質なコンテンツをコンスタントに集める必要が生じました。子育て経験がある方に、在宅ワーカーとして参加していただくことで、さまざまな体験談や知識をコンテンツとして共有できると考えました。

Q | どのように在宅ワーカーを探しましたか？

クラウドソーシングや、マッチングイベントを利用しました。クラウドソーシングは、管理の手間がかからないのが利点。マッチングイベントは、実際に会った上で採用を検討できる点が利点です。相手の人柄や、過去の子育て経験などは実際に会って確認するようにしています。

Q | 在宅ワーカーに依頼した業務の内容は？

出産・子育て・育児の情報サイト mugyuu! (<https://mugyuu.jp/>) のコンテンツ制作です。主に、自分の育児経験をもとにコラム記事を書い

ていただきました。

Q | 在宅ワーカー活用のポイントは？

企業側としては、在宅ワーカーとの認識のずれがないように、依頼事項をできるだけ明確に説明することが大事だと思います。

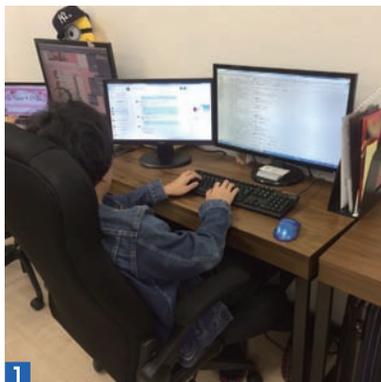
また、成果物がこちらのイメージと違ったなどのトラブルを回避するため、最初に契約上のルール作りやマニュアル作りに時間をかけました。そのため、今のところ大きなトラブルは発生していません。

Q | 在宅ワーカーとのコミュニケーションは？

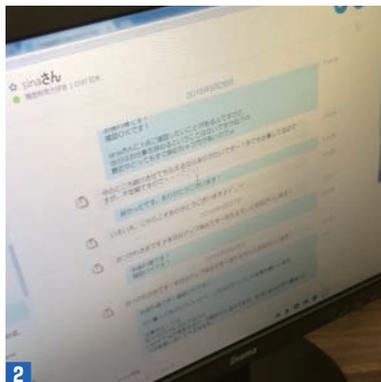
連絡手段はパソコン上でできるチャットワーク等を活用。納期や進捗の確認など、週に2、3回以上は連絡を取っています。今後、人数が増えた場合は、グループウェアの導入も検討中です。

Q | 在宅ワーカーを活用したメリットは？

複数の在宅ワーカーに依頼したことにより、短



1



2



1 | 在宅ワーカーとのコミュニケーションはチャットワークを使い週2、3回以上 2 | チャットワークでこまめに進捗を確認 3 | 在宅ワーカーによるコンテンツを配信する子育てサイト

期間で多くのコンテンツを集めることができたこと、また、人それぞれ子育て体験が異なるため、バラエティに富んだコンテンツが集まったことです。

Q | 在宅ワーカー活用の課題は？

「思っていた内容と違った」「自分にはできない」などの理由で、すぐに辞めてしまう、あるいは受注を辞退する在宅ワーカーも少なくないことです。できるだけ長く続けていただきたいので、事前に、業務内容の説明を丁寧にするよう心がけています。「長時間仕事をしたい」「空いた時間に少しだけ仕事をしたい」など、在宅ワーカーによって意識が異なるので、その点も踏まえた仕事の割り振りが必要だと感じています。

Q | トラブルはありましたか？

過去に業務委託契約書の締結前に作業を先行して進めたときに、在宅ワーカーのパソコンが壊れるということがありました。契約書にはそのような場合の責任の所在は在宅ワーカーにあると明記されていますが、契約締結前だったため、だれが責任を取るかが問題になりました。以後、契約締結後に業務開始ということ徹底しました。ト

ラブルがあった場合は社内で情報を共有し再発防止に努めています。

Q | 在宅ワーカーを今後も活用したいですか？

これまで蓄積したノウハウを生かし、よりスムーズに、多くの在宅ワーカーを活用したいと思っています。そのための仕組み作りも考えています。

Q | 在宅ワークという働き方についてどう思いますか？

「育児の合間に少しだけ働きたい」という在宅ワーカーのニーズに合ったよい働き方だと思います。子育て経験があるという利点を生かせる業務であれば双方にとってメリットが大きいと感じています。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 契約締結時にルールを明確化すること
- 発注側の要望を、わかりやすく説明すること

Worker's VOICE

【職種】コンテンツライター
i.eさん(在宅ワーク歴：今回が初めて)
【使用ツール】PC：デスクトップ、ノート、iPad / OS：Windows10

● 子育てと両立でき、子育て経験を生かせる仕事が気に入っています

■ 在宅ワークを始めた経緯

子育てをしながらでも何か社会で役に立ちたいと思い、マッチングイベントに参加しました。企業の方々と直接お話しするので身だしなみは心がけました。

■ 仕事を継続する上で努力していること

一日のほとんどを子育ての時間が占めていますが、発注元企業の方針に合わせることや、担当者の業務時間内に連絡や業務をすることを心がけています。

■ 在宅ワークのメリット

小さい子どもを育てながら、空いた時間に自分のペースで仕事ができることです。

■ 在宅ワークのデメリット

始めたばかりなので今のところありません。

■ 今の発注者のよいところ

子育て中の私をあたたく歓迎をしてくれ、自分の子育て経験を生かせる仕事に携われたことです。

■ 今後どのように仕事をしていきたいか

子どもの成長とともに自分の時間も長くとれるようになるので、今以上に実績と経験を積んでいきたいです。



マッチング好事例集 ケース② 株式会社テンポスドットコム

発注者概要 所在地●東京都大田区東蒲田2-30-17 サンユ-東蒲田ビル 資本金●9,000万円 代表取締役●森下 篤史
従業員数●25名 在宅ワーカー数●延べ数約6名(2016年度実績) URL●http://www.tenpos.com
事業内容●飲食店、仕出し給食等外食、中食業向け業務用厨房機器の新品商品販売、および中古品の再生販売

在宅ワーカーのスキルを把握し適切な発注を

～ 切り分けられる作業はどんどん外注へ～

Q | 在宅ワーカーに依頼している業務の内容は？

弊社は通販サイトを運営しており年間10万点以上もの商品を扱っています。在宅ワーカーに依頼するのは主に①商品画像の加工、②商品スペック等情報の加工、の2点です。

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

大量の画像を扱うため、社内のリソースだけでは対応しきれず、早くから在宅ワーカーの必要性を感じていました。8年ほど前の、まだクラウドワークという言葉もない頃から、webで在宅ワーカーを探し、仕事を依頼してきました。

Q | 在宅ワーカーとのマッチングの方法は？

今回、マッチングイベントに参加し、新たに4名の在宅ワーカーと契約しました。その他、オフ会やクリエイターズエキスポなどのイベントに参加して、在宅ワーカーの発掘に努めています。大量のデータを短時間で処理する作業では、海外

への発注も少しずつ増やしています。

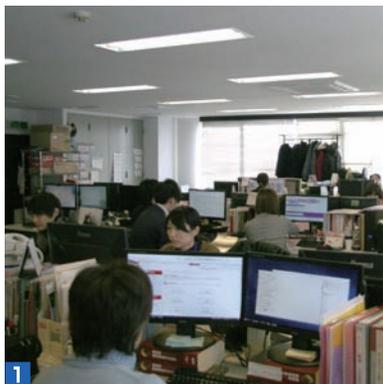
Q | 在宅ワーカー活用のポイントは？

在宅ワーカーのスキルのレベルを把握し、相手に合った難易度、頻度で発注をすることが大事。初心者には少量ずつ発注して納品物を確認し、スキルが上がり信頼関係ができれば一括で依頼をします。

よい仕事をしてくれたら、「よかった」と伝えたり、どれだけ売上に貢献できたかといった報告をすることで、在宅ワーカーのモチベーションアップにつなげています。ミスがあったときは、同じ失敗をしないよう呼びかけ、報酬を減額することもあります。

Q | 在宅ワーカーとのコミュニケーションは？

ほとんどメールでのやりとりです。納品データのやりとりは、メール添付や、データ便などのファイル転送サービス、ドロップボックスなどのオンラインストレージサービスを利用しています。



1 社内の様子 2 在宅ワーカーとはメールによるコミュニケーションが多い 3 飲食店を対象に、厨房機器を扱うインターネット店舗を運営

Q | 在宅ワーカーを活用したメリットは？

社内のリソースを変えずに、大量のデータ処理を短時間で仕上げてもらえることです。

Q | 在宅ワーカー活用の課題は？

在宅ワーカーによってスキルの差が大きいことです。一人ひとりのキャパシティをこちらが把握して発注量を調整しなければなりません。

Q | 過去にトラブルはありましたか？

事前に契約書を交わした上で発注をしているので大きなトラブルはありません。

在宅ワーカーのスキルを読み誤り、大量の発注をした結果、納期までに成果物が納品されないことがありました。ワーカーのスキルと発注量のバランスはやはり大事なポイントだと思います。

Q | 在宅ワーカーを今後も活用したいですか？

ぜひ活用したいです。現在依頼している、画像処理、商品情報の加工だけでなく、社内でルーティン化できる業務を見極め、切り分けられるものはほとんど外部の方々に任せていきたいと考えています。

悩みは、こちらが求めるレベルや会社にフィットした在宅ワーカーになかなか出会えないこと。スキルの問題だけでなく、感性などさまざまな要因があると思います。さまざまなタイプの優れた在宅ワーカーの数が増えてほしいと思います。

Q | 在宅ワークという働き方についてどう思いますか？

子育てをしながら働いている在宅ワーカーが多いですが、家庭の事情があって企業では働けなくても在宅ワーカーとしてなら働けるという選択肢があるのはいいことだと思います。今後も、会社の方針として在宅ワーカーを応援したいと思っています。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 慣れるまで少量発注⇒成果物の確認により育成
- 相手のスキルを把握し適切なレベル・量の発注
- 良かった点や貢献度などを伝えてモチベーションアップ

Worker's VOICE

【職種】 画像加工

M.Kさん(在宅ワーク歴：5年)

【使用ツール】 ノートPC、ペンタブレット、Photoshop

無理のない納期設定がポイント

■ 在宅ワークを始めた経緯

友人の紹介で。大学時代から在宅でイラストの仕事をしていたのですが、働いた分だけお金が貰える、自分の裁量で時間を使える点が気に入っています。

■ 仕事を継続する上で努力していること

納期を必ず守ること。クライアントの要望に沿った品質を保つこと。1時間あたりの自分の作業量を計り、会社に上限を伝え、無理のない納期を設定すること。



■ 在宅ワークのメリット

昼間に用事を済ませて夜仕事をするなど、自分の都合で時間を融通でき、家事と両立できること。

■ 在宅ワークのデメリット

すべて自己管理なのでだらだらしがち。仕事中は時間を計って集中し、計画的に進めるよう心がけています。

■ 今の発注者のよいところ

ほぼ毎日、安定して仕事をいただけること。

■ 今後どのように仕事をしていきたいか

現状の仕事が好きで、働き方も気に入っているため、今のままで継続していきたいです。

マッチング好事例集 ケース③ web ショップさいたま

所在地 ● 埼玉県さいたま市南区別所3-27-25 西野台ガーデニア207号 資本金 ● 個人事業主のためなし
 発注者概要 代表 ● 阿部智恵子 従業員数 ● なし 在宅ワーカー数 ● 7名(2016年度実績)
 URL ● <http://www.webshop-saitama.com> 事業内容 ● ホームページ制作

在宅ワーカーの活用により、業務の幅も量も拡大

～ 間口を狭めず、出会いの機会を多くする ～

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

起業して7年になります。立ち上げ当初は一人でできることをコツコツとしていましたが、2年前前から在宅ワーカーに依頼をするようになりました。アルバイトを雇う方法もありましたが、私自身、子育てをしながら起業したこともあり、同じ境遇の働きたい子育てママを応援したいと思いました。

Q | 在宅ワーカーはどのように探しましたか？

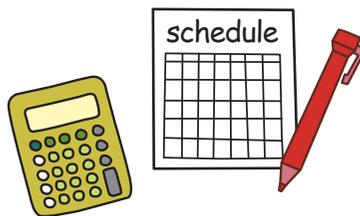
在宅ワーカーの求人サイトに依頼条件を掲載し、条件に合う人を採用しています。マッチングイベントにも積極的に参加しています。過去の実績などを参考にしながら、ファーストコンタクト後の対応やレスポンスの速さなどでどれくらい仕事がお願いできそうか判断しています。

Q | マッチング成功の秘訣は何ですか？

応募の際に、家庭（子ども）の事情、1日どの

くらい稼働できるかを聞き、その方のワークスタイルを知った上で条件に合う案件を依頼することです。同時に、こちらの要望に合う方、信頼できる方に出会うのは簡単ではないので、できるだけ多くの方に出会う機会を作ることも必要だと思います。

募集の際、間口をあまり狭くしないことも大切だと思っています。例えばwebデザイナーを募集するときに「紙媒体しか経験がない」という人でも、本人のやる気さえあれば完全サポート体制をとって案件に挑戦していただきます。既に紙媒体で培った高いスキルを存分に生かし同時にスキルアップもしていただけます。



1 2 在宅ワーカーに制作依頼したホームページ
 3 同社のホームページ

Q | 在宅ワーカーとのコミュニケーションは？

メールが主ですが、必要があれば電話連絡も行います。質問がしやすいように「気軽に電話してください」と毎回メールに書き添えるようにしています。在宅ワーカーあつての仕事なので、感謝の気持ちは常に伝えるようにしています。

Q | 過去にトラブルはありましたか？

「パソコンが壊れて連絡ができなかった」、「インフルエンザになってしまい作業が全然できていない」と納期直前に連絡を受けたことがありました。依頼主の管理の責任だと思うので、以後、進捗確認の連絡をまめにするようにしています。

Q | 在宅ワーカーを今後も活用したいですか？

ぜひ活用したいです。優秀な在宅ワーカーには長く続けてもらいたいので、仕事を安定的に出し続ける努力をしています。これまではweb制作が中心でしたが、今後は新しいビジネスも構想中

で、そのための在宅ワーカーの確保も念頭にあります。一人で仕事をしていたら、他のサービスを展開しようという発想も出なかったかもしれません。

Q | 在宅ワークという働き方についてどう思いますか？

子育て中などの事情がある方でも自分らしく働けるという点でとてもいい働き方だと思います。しかし、在宅ワークは職種によっては収入も上がらないのが現実。レベルの高い人もたくさんいるので、業務内容や就業形態など、可能な範囲で活動の幅を広げていただきたいと思います。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 過去の作品やメール、レスポンスの速さなどをチェック
- 募集にあたり間口をあまり狭くせず、できるだけ多くの人と出会う
- 仕事をし続けて優秀な在宅ワーカーをキープ

Worker's VOICE

【職種】 デザイナー
takayamaさん(在宅ワーク歴: 4ヶ月)
【使用ツール】 Mac Illustrator Photoshop

ON・OFFのメリハリをつけて、
ライフスタイルに合わせて仕事を継続

■ 在宅ワークを始めた経緯

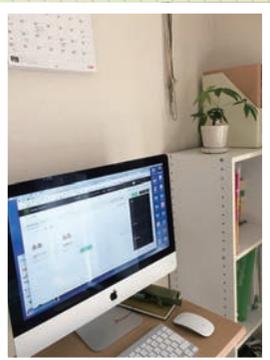
夫の事業を手伝うため退職。今までの仕事経験を生かし、空き時間を有効活用するため、始めました。

■ マッチング（仕事を得る）のために心がけたこと

在宅ワークの募集がないか、常にアンテナを張り、ネットや雑誌、広報誌などによく目を通しています。

■ 仕事を継続する上で努力していること

メールのやりとりが主なので、すぐに返信するようにしています。



自営業の手伝いもあるので、がんばりすぎず、ON・OFFのメリハリをつけています。

■ 在宅ワークのメリット

自分のライフスタイルに合わせて働けること。

■ 在宅ワークのデメリット

拘束がない分、ルーズになりやすい。収入が不安定。

■ 今の発注者のよいところ

今までの仕事も活かせて、かつ新しい分野も学ぶことができる。女性の働き方に理解があるところ。

■ 今後どのように仕事をしていきたいか

元々は紙媒体のデザインがメインでしたが、webデザインのスキルを高めていきたいと思っています。

マッチング好事例集 ケース④ 株式会社キャリア・ママ

所在地●東京都多摩市落合1-46-1 ココリア多摩センター 5階 資本金●3,875万円 代表取締役●堤 香苗
発注者概要 従業員数●33名 在宅ワーカー数●約2000名(2016年度実績) URL●<http://corp.c-mam.co.jp/>
事業内容●コンテンツ開発、プランニング、マーケティング、コンサルティング、在宅ワーカー仲介

女性の活躍の可能性を広げる在宅ワークで、自分らしく働ける社会づくり

～実績をデータベース化し、案件に適したきめ細かな発注を～

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

「女性のキャリアアップと社会をつなぐ」を企業理念とし、だれでも自分らしく生き生き働ける社会を作ることを目指して2000年に起業しました。在宅ワーカーの活用は、当社設立当時から行ってきました。

Q | 在宅ワーカーはどのように探しましたか？

現在会員は10万人いますが、そのうち在宅ワーカーとして契約している方は、年間約2000人です。自社ホームページを運用することで、在宅就業に関する有益なコンテンツを発信するなどし、インターネットで検索してもらいやすい工夫をしています。また、広告出稿に頼らず、プレスリリースなどを定期的に発信することで、新聞などのメディアに取り上げていただき、それを見た方が企業理念に共感しつつ会員登録をするため、親和性が高く、質のよいワーカーがいることが会社の強みになっています。

Q | マッチング成功の秘訣は何ですか？

在宅ワーカーのスキルをよく見極めることです。応募時に、必要事項を確認するだけでなく、過

去の作品、自己PRを提出していただいています。また、すでに発注した在宅ワーカーの成果物の質を見て評価を入れたデータベースを作成し、次の発注の参考資料としています。

Q | 仲介業者として在宅ワーカーに依頼した業務の内容は？

クライアントの要望に応じて、ライティング、CAD、覆面調査、HP制作など様々な仕事を依頼しています。

Q | 在宅ワーカーとのコミュニケーションは？

チームの仕事が多く、web上にチームのメンバーだけが参加できるワークスペースを設けています。その他、メール、電話、スカイプ、テレビ会議システムなどのツールを使っています。

Q | 在宅ワーカー活用の課題は？

企業が在宅ワーカーに求める仕事のレベルは上がっており、スキルの高いワーカーの確保が課題です。一方、在宅ワーカーのほうは、扶養控除の壁があり、スキルアップして仕事の質や量を上げようという意識の人が少ないのが残念です。



1



2



3

1在宅ワーカーとはテレビ会議で打ち合わせ 2社員の大半はママ 3webサイトで仕事を募集

スマホなどのIT機器やアプリが進化し、求人方法や在宅ワーカーとの連絡方法が多様化しており、その対応も課題となっています。

Q | 在宅ワーカーを採用するにあたってどのような準備をしましたか？

web上のスペースで情報共有ができる仕組みや、発注書・請求書の受発信がオンラインのできる仕組み、在宅ワーカーのデータベースの作成など、システム開発を行いました。また、研修を目的としたeラーニングコンテンツを制作しました。

Q | 過去にトラブルはありましたか？

在宅ワーカーのスキルや能力は自己申告なので、納品物が想定したレベルに達していなかった、期待したものと違う成果物ができたということがあります。これらを回避するため、在宅ワーカーの評価やトライアル試験を実施しています。また、在宅ワーカーは主婦の方が多いので、クライアントから提示される仕様書を、わかりやすく書き直した上で発注しています。

小さいお子さんがいるママの場合、レスポンスが遅い、途中で連絡がつかなくなるということもあり、大きな仕事を依頼する場合は、信頼関係がで

きているワーカーに発注する必要があると思います。

Q | 在宅ワーカーを今後も活用したいですか？

そもその会社の理念が、女性の活躍支援。在宅ワークは女性の活躍の可能性を広げる働き方だと思いますので、今後も続けていくつもりです。

Q | 在宅ワークという働き方についてどう思いますか？

ここ数年で需要も増えていると感じます。能力があるのに育児や介護のために働くことができない女性たちに働く場を提供できることは社会的意義のあることだと思います。またパソコンとインターネットさえあれば働けるので夫の転勤で海外に行っても、仕事を続けている人もいます。在宅ワークならではのメリットだと思います。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 過去の実績や自己PRをデータベース化しワーカーのスキルを正確に見極める
- 大口案件は信頼関係ができてから発注する
- web上に共同のワークスペースを設け、コミュニケーションが円滑にできる場を用意する

Worker's VOICE

【職種】コンテンツライター
M.Yさん(在宅ワーク歴：4年)

【使用ツール】Windows パソコン、複合機、ソフト MicrosoftOffice

- 時間の融通が利く在宅ワークで、
- スキルの幅を拡大

■ 在宅ワークを始めた経緯

結婚後、いずれ子どもができると思い外勤の仕事を退職。家計の足しにと思い在宅ワークを探しました。

■ 仕事を継続する上で努力していること

納期を守る、できないときは早めに事情を言うなど、連絡をこまめにし、信頼関係を作っています。

■ 在宅ワークのメリット

自宅で子どもを見ながら仕事ができるのが最大のメリットです。時間の融通が利く点もいいですね。

■ 在宅ワークのデメリット

報酬が出来高制なので、子育て中は仕事に割ける時間

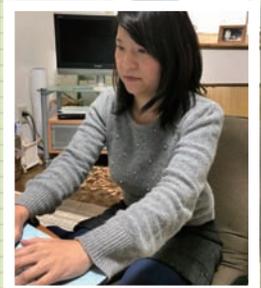
が少なく、収入も上がりにくいこと、ネットで仕事を探す場合、信頼できる会社が見極めが難しいことです。

■ 今の発注者のよいところ

仕事の種類が幅広く、仕事を通じて新しい経験ができスキルの幅が広がることです。

■ 今後どのように仕事をしていきたいか

少しずつ仕事をしながら力をつけて、子どもが大きくなったときに、次につなげられればと思います。



所在地 ● 東京都品川区北品川1-9-7 トップルーム品川1015
 発注者概要 代表取締役 ● 福島慎介 従業員数 ● 5名 在宅ワーカー数 ● 5名 (2016年度実績)
 URL ● <http://bousuikouji.info> 事業内容 ● 防水専門業者と顧客のマッチング及び相談業務

良質でコストも抑えられる在宅ワークの活用で、業績アップ & 社会貢献

～ 待遇・条件の明示がミスマッチを防ぐ ～

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

単発の仕事で、仲介者を介して在宅ワーカーを活用してみたところ、対応・成果物の品質ともに大変よく、コストも抑えられたことがきっかけです。子育てをしながら働く大変さを実感しており、子育てしながら働きたい女性を応援したい気持ちもありました。

Q | 在宅ワーカーとのマッチングの方法は？

最初は仲介者を利用しました。在宅ワーカーとのやり取りは仲介者にすべてお任せできる点が楽でした。マッチングイベントにも参加しました。

Q | マッチング成功の秘訣は何ですか？

こちらが提供できる待遇と、求める技術やスキルの明示がミスマッチを防ぐ鍵。面談や性格テスト、メールテストを行い過去の作品も見て発注の判断をします。

Q | 在宅ワーカーに依頼した業務の内容は？

営業部門では、メールや電話による相談・紹介業務を依頼し、制作部門では、web サイトの企画・制作・更新、SEO 対策などを依頼しています。

Q | 在宅ワーカーとのコミュニケーションは？

普段の業務では、メール、スカイプを使っています。なるべく1日1回はコミュニケーションを取るようになっています。仕事だけでなく、家庭の悩みなどを聞くこともたまには必要だと思います。

Q | 在宅ワーカーを活用したメリットは？

固定費を圧縮できることが一番です。様々な事情から外勤できない方の働く場を提供でき、就業機会の創出により社会貢献できる点も嬉しく思います。

Q | 在宅ワーカー活用の課題は？

子どもの病気など突発的な事情で仕事に対応



1 協会ホームページ。在宅ワーカーによって制作、運営している。SEO 対策も
 2 在宅ワーカーとは、チャットワークを使ってコミュニケーション

できない場合があること、在宅ワークは周囲の協力を得ながらではなく、基本的に1人で仕事を進めるため、スピード感に欠けることもあります。

Q | 在宅ワーカーを採用するにあたってどのような準備をしましたか？

在宅ワーカーのモチベーション維持・向上のために、待遇や評価制度の見直しを検討しました。各ワーカーに希望の勤務時間と報酬を聞き、各自希望の時間帯で働いてもらっています。また、評価制度を設け、報酬に反映しています。

Q | 過去にトラブルはありましたか？

初心者が発注したことで、期限までに成果物を完成できず、結局ベテランに外注して仕上げたことがあります。それ以来、同様のトラブルを避けるため、事前に厳しい条件を提示しそれをクリアした人、即戦力になる人にしか発注していません。

Q | 在宅ワーカーを今後も活用したいですか？

コスト面だけでなく、女性を応援していくとい

う意味でも積極的に活用していきたいです。子育てや介護のために、家庭の中で埋もれている才能があると思うので、そういう方を見つけて発注したいですね。

Q | 在宅ワークという働き方についてどう思いますか？

今後増えていき、それが当たり前前の働き方になっていくと思います。まだアルバイトの延長くらいにしか考えていない在宅ワーカーも多いかもしれませんが、高い意識を持ってプロとして働きたい人も増えるでしょう。在宅ワーカーは、技術やスキルを身につけてそれをアピールできるようしっかり準備しておくことが大事だと思います。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 可能な限り良い待遇を提示すること
- 求める条件を具体的にすること
- 厳しい条件をクリアした人にだけ発注すること

Worker's VOICE

【職種】スケジュール管理、webマーケティング
中西友子さん(在宅ワーク歴：約1年)
【使用ツール】Windows10、Chatwork、Dropbox 等

● 同じミスをしない努力が継続の鍵。研修も充実し、新しい分野にも挑戦できる

■ 在宅ワークを始めた経緯

家事、育児と両立して働きたかったため。

■ マッチング（仕事を得る）のために心がけたこと

職務経歴書・名刺を作成し、自分のスキル・経歴を会社様にアピールするようにすること。PCスキルが落ちないように日々練習すること。

■ 仕事を継続する上で努力していること

不明点は早めに調べる。ミスをしたら同じことを繰り返さないよう、改善策を立て、実行することです。



■ 在宅ワークのメリット

子どもの用事・体調を優先して仕事ができること。

■ 在宅ワークのデメリット

時間のメリハリをつけないと、予定の時間外も仕事に充ててしまい、オーバーワークになること。

■ 今の発注者のよいところ

教育体制が充実しているため未経験の分野（webマーケティング）を担当させてもらえています。

■ 今後どのように仕事をしていきたいですか？

HTMLやWordPressでのページ作成・更新など違う仕事にもチャレンジしたいです。

マッチング好事例集 ケース⑥ 東京反訳株式会社

所在地●東京都豊島区南池袋3-13-15 東伸ビル4F 資本金●300万円
発注者概要 代表取締役●吉田 隆 従業員数●22名 在宅ワーカー数●延べ数約400名(2016年度実績)
URL●<https://8089.co.jp/> 事業内容●テープ起こし受注業務

コーディネーターを配置し、 web上のページでスケジュール等を管理

～バーチャルだからこそ 思いやりのあるコミュニケーションが必要～

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

初めて音声起こしの仕事を受注したときに、急遽在宅のリライター（音声起こしができる人）を探し、優秀な人材に出会ったことがきっかけです。

Q | 在宅ワーカーとの マッチングの方法は？

多くの方に当社のことを知って応募してもらうためリライター向けページ「東京反訳 jobstyle」を開設し、当ページでの募集に注力しています。さらにリライターに必要な情報や当社が求めている人材等を公開し、登録後に相違が生じないようにしています。

また、今年はマッチングイベントに数回参加しました。実際に会って話ができ、お互い具体的なイメージが付きやすいところが利点だと思いました。

Q | マッチングの課題は何ですか？

全国からの応募となるため、実際に会って話す

機会が限られていることです。

Q | 実際にどのような業務を 委託していますか？

音声起こしがメインですが、ジャンルは医療、裁判などさまざまです。リライターのレベルや特性に合った案件を案内しています。

Q | 在宅ワーカーを活用したメリットは？

8～9割がリライターへの発注業務なので、リライターがいないと成り立ちません。

Q | 在宅ワーカーを活用したデメリットは？

それぞれ仕事のスタンスやレベル等が違うので、管理に気を遣うことです。

Q | コミュニケーションは どのようにしていますか？

登録ワーカーにはIDとパスワードを発行し、自社サイト上の「マイページ」で、ジャンルごと



1



2



1 新人には研修を行い成果物の高い質を保っている 2 機密性の高い案件はセキュリティルームで行う 3 同社のホームページ

に設置した専任のコーディネーターが、仕事の発注、日々の連絡、スケジュール管理を行っています。メールでなく、システム上でやりとりすることにより、見落としやスケジュールの重複といったミスを防いでいます。また年に2回研修会や忘年会を開催し直接話す機会を作っています。

Q | 在宅ワーカーの教育や管理はどうしていますか？

新人には、1～2カ月の研修期間を設けています。納品履歴を管理し、得意分野やスキルレベルを把握して、クライアントの要望に見合った人に発注しています。

Q | 在宅ワーカー活用のポイントは？

登録時にトライアル試験を受けてもらい、事前にスキルチェックをすることです。後でトラブルがないようハードルは高めに設定しています。

また、バーチャルワークでも、人対人なので、感謝の気持ちを忘れず、思いやりを持ちつつ、人間らしいコミュニケーションをとることだと思います。

Q | 在宅ワーカーを今後も活用したいですか？

年齢的に長時間耳を酷使するの辛くなってきたライターさんたちにも、別の仕事を依頼するなど工夫して、少しでも長く当社と仕事をしたいと思っています。

Q | 在宅ワークという働き方についてどう思いますか？

子育て・介護・治療等、様々な理由から在宅ワークを選んだ方が多いと思います。それぞれに合った働き方でうまく続けているのは素晴らしいと思います。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 明確なルールを設けること
- 発注側の要望を、わかりやすく説明すること

Worker's VOICE

【職種】コンテンツライター
加藤由起子さん(在宅ワーク歴:約9年)
【使用ツール】Windows2007、テープ起こし作業用音声再生ソフト「Okoshiyasu 2」

自分のスキルを客観的に判断し、自分に合った業者を見つけることが大事

■ 在宅ワークを始めた経緯

10年のブランク後、通信教育で「テープ起こし」の基礎を学びました。在宅で仕事ができることに魅力を感じ、登録試験を受けました。

■ マッチング(仕事を得る)のために心がけたこと

たくさんの情報のなかで自分に合った業者を見つけること。同時に自分のスキルを客観的に判断すること。

■ 仕事を継続する上で努力していること

社会人としてのマナー。自分のスキル向上。

■ 在宅ワークのメリット

家族の予定に合わせて作業量やスケジュールの調整ができる。通勤に費用・時間を費やさなくていいこと。

■ 在宅ワークのデメリット

プライベートと仕事の境目が付けづらいこと。出来高制のため自分の実力=収入という現実。

■ 今の発注者のよいところ

成果に対しての報酬額を前もって提示してくれ、非常に良心的であること。スタッフに女性が多いこと。

■ 今後どのように仕事をしていきたいか

体力的に無理せず続けていきたいと考えています。



マッチング好事例集 ケース ⑦ 株式会社 grooo (グロー)

所在地 ● 東京都渋谷区恵比寿1-24-15 シエルブルー恵比寿EAST 9F 資本金 ● 5,200万円
発注者概要 代表取締役 ● 谷本和隆 従業員数 ● 16名 在宅ワーカー数 ● 15名(2016年度実績)
URL ● <http://grooo.co.jp/> 事業内容 ● WEBコンサルティング全般

主婦目線を活かしたコンテンツが強みに

～無理をさせずしっかり育て、顔の見える関係作りを～

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

以前勤めていた会社で在宅ワーカーを活用していた実績があり、そのよさを知っていたため、活用するに至りました。

Q | 在宅ワーカーとのマッチングの方法は？

マッチングイベントへの参加、知人からの紹介、ライター講座参加者からのスカウトなどです。

Q | マッチング成功の秘訣は何ですか？

弊社の事業内容や企業ポリシーなどをよく理解していただいた上でお付き合いを始めます。また、あとで行き違いが生じないよう依頼内容をできるだけ詳しく記載した資料を作成します。

Q | 在宅ワーカーに依頼している業務内容は？

web オウンドメディアの原稿など様々なライティング案件を依頼しています。ジャンルも、保

険、旅、ジュエリー、グルメなど多岐にわたります。

Q | 在宅ワーカーとのコミュニケーションは？

電話やメールが中心ですが、たまに食事会を開催し、顔が見えるお付き合いをしています。

Q | 在宅ワーカーを活用したメリットは？

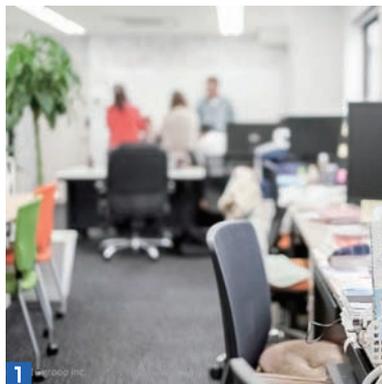
当社の在宅ワーカーは主婦の方が多いので、ファミリー向けの案件の場合は、ユーザー目線で物事をとらえ、記事が書ける強みがあります。

Q | 在宅ワーカーを活用したデメリットは？

それぞれ家庭の事情などがあり、急な修正などへの対応が難しいことがあります。

Q | 在宅ワーカー活用の課題は？

上質な在宅ワーカーをいかに獲得するか、伸びしろのある人材に出会えるかどうかです。



- 1 社内の様子
- 2 昨年行われたライター講座の様子
- 3 在宅ワーカーとしてがんばってくれているライターの記事

Q | 在宅ワーカーを採用するにあたって どのような準備をしましたか？

在宅ワーカー各々のライフリズムを考えた上でスケジュールを調整することや、質と知識向上のためのライティング講座の開催、誰でも書きやすい原稿の設計シートや仕様書の作成を行いました。

Q | 過去にトラブルはありましたか？ 再発防止策は？

原稿の書き直し：どこをどう修正すればよいのかを分かりやすく説明し、再発を防いでいます。

納品の遅延：進捗状況を確認しスケジュールを引き直します。また、遅延理由を聞いて、わからないことがあれば質疑応答を繰り返し、解決していくよう努めています。

Q | 在宅ワーカー活用の 成功のポイントは？

子育てママが多いので、それぞれの事情を見て稼働時間を考えながら仕事を依頼することです。また、量を求めて無理をさせるのではなく、力量や得意分野を理解した上で、しっかりと力をつけて「良い原稿」を書いてもらえるように努めてい

ます。そうすることで、無理なく着実に力をつけながらがんばってもらえますし、力がつけば、結果的に早く質のよいものができるようになります。

Q | 在宅ワーカーを 今後も活用したいですか？

ぜひ活用していきたいと考えています。

Q | 在宅ワークという働き方について どう思いますか？

自分の時間を自由に調整しながら仕事ができるので家事や育児とのバランスはうまく取れると思います。ただし、その分セルフマネジメントがしっかりできないと、仕事のスケジュールがうまくできずに原稿の遅延に繋がってしまう恐れもあります。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 自社のポリシーを理解してもらう
- 依頼内容を最初に詳しく説明する
- 無理をさせずしっかり育てていく

Worker's VOICE

【職種】ライター
小高香織さん(在宅ワーク歴2年半)
【使用ツール】PC：ノートパソコン2台 / OS：Windows10

- 執筆ペースを上げ、
- 専門性を高めることが目標

■ 在宅ワークを始めた経緯

下の子が幼稚園に入って時間に少し余裕ができ、育児の時間を確保しながらできる仕事を探していました。

■ 仕事を得る上で努力していること

自分ができること、得意な分野を明確にしました。銀行勤務経験があり、金融関係の記事なら書けることをアピールしました。

■ 在宅ワークのメリット

主に家での仕事なので、衣服費や交通費、外食費がかからない。子どもの預け先を気にすることなく仕事ができる。自宅以外のコワーキングスペースや図書館、実家など、いつでもどこでも仕事ができるのも魅力。

■ 在宅ワークのデメリット

ほとんど外出をしないので運動不足になります。仕事の合間に意識してストレッチやウォーキングをするようにしています。ずっと一人でさびしいことも。

■ 今後どのように仕事をしていきたいか

仕事と子育て、家事の時間配分を工夫して、月の執筆ペースをあげることが今後の目標。金融の知識を深め、より専門的な内容の記事に挑戦していきたいです。



マッチング好事例集 ケース ⑧ 株式会社 Kaeru

発注者概要

所在地 ● 大阪府大阪市中央区備後町3-6-2 大雅ビル10F 資本金 ● 400万円 代表取締役 ● 大崎弘子
従業員数 ● 5名 在宅ワーカー数 ● 15名(2016年度実績) URL ● <http://www.osakan-space.com/>
事業内容 ● コワーキングスペースの運営、地域経済新聞の発行、イベントの企画・運営等

信頼関係を大切にし、 やりがいを持って働ける仕事を提供

～時間や場所の制約なしに働きたい人を今後も応援したい～

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

システムエンジニアとライターを在宅ワーカーとして抱えています。1人で始めた会社なので、従業員を雇うよりもスキルがある在宅ワーカーへ発注の方が効果的と考えました。

コワーキングスペースを運営していることから、フリーランスで働く人と出会う機会にも恵まれていたことも大きいです。

Q | 在宅ワーカーに依頼している業務内容は？

システムエンジニアは、スペースの利用者で信用できる方に自社webサイトの運営やシステム開発を依頼。ライターは自社webサイトで随時募集し、自社媒体の記事制作等を依頼しています。

Q | マッチング成功の秘訣は何ですか？

ある程度の信頼関係ができ、人柄やスキルがわかってから発注することです。ライターには試用期間も設け、仕事ができそうだとお互いに納得

の上で取引をスタートさせるので、これまでにミスマッチはありません。

Q | 在宅ワーカーとのコミュニケーションは？

チャットワークを利用することが多いです。気軽に相談できる個別のチャットと、関係者が情報を共有しながらやりとりできるグループチャットを目的に応じて使い分けています。

Q | 在宅ワーカーを活用したメリットは？

自社のスタッフが持っていないスキルを必要なときだけ提供してもらえるのが一番のメリットです。コストも削減できて、在宅ワーカーに大変助けられています。

Q | 在宅ワークの課題とそれに対する工夫は？

在宅ワーカーにとってのデメリットは収入が読めないことだと思うので、当社では報酬額が一定



- 1 顔を合わせる機会を大切にしている同社。定例会やスキルアップセミナーなどを設けている
- 2 重視してきたのは、お互いの信頼関係
- 3 定例会後はコーヒーでくつろぎタイム

になるようにしています。月ごとに仕事量のばらつきはありますが、年間で平均して金額を設定しています。

Q | 在宅ワーカーを採用するにあたってどのような準備をしましたか？

チャットワークを導入するなど情報を共有できる環境作り、守秘義務などの文書作り、支払いのルール作りなどです。またライター向けには、細かなマニュアルを作成しました。取材の仕方や原稿の書き方などを明記することで未経験でも仕事に取り組みやすくなっています。写真の撮り方などでは、セミナーも開きました。

Q | 過去にトラブルはありましたか？

多少の納期遅れや品質のばらつきなどがありましたが、いずれも社内スタッフの対処で解決してきました。

Q | 在宅ワーカーを今後も活用したいですか？

活用したいです。未経験から始めた人にも成長が見られ信頼関係もできました。現在は社内スタッフが行っている業務も、どんどん在宅ワーカーへ任せていきたいと思っています。

Q | 在宅ワークという働き方についてどう思いますか？

当社と契約している在宅ワーカーには、ただお金を得ることだけを目的とせず、やりがいを感じられたり社会に役立っていることを実感できる仕事を提供していきたいと考えています。

当社には、他社と掛け持ちで副収入を得ている人や子育て中のワーカーなどさまざまな人がいます。

時間や場所の制約なしに働きたい人はたくさんいると思うので当社としてもできるだけ応えていきたい方針です。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 顔を合わせ、信頼関係ができてから発注する
- 試用期間を設けてスキルを確認する
- 定額の報酬でワーカーの不安を軽減する
- 情報共有のルールやマニュアルの作成など、ワーカーが働きやすい環境を整える

Worker's VOICE

【職種】ソフトウェアエンジニア
Y.Yさん(在宅ワーク歴：10年)
【使用ツール】MacBook Pro

得意分野を極めて専門性を高めたい

■ 在宅ワークを始めた経緯

通勤時間がもったいないと感じ、また、出社しなくても仕事ができることを知り、会社を辞めて在宅ワーカーになりました。

■ 仕事を継続する上で努力していること

やっつけ仕事をせず、丁寧な仕事をする。楽しそうなイベントには積極的に参加して、ネットワークを広げる。直接、仕事につなげようとせず、ゆっくりと仕事の選択肢を増やしていければと思っています。

■ 在宅ワークのメリット

通勤が不要。自分に合った快適な環境で仕事ができる。家族と過ごす時間が増えたこと。毎日、夕食と一緒に食べられるようになったこと。

■ 在宅ワークのデメリット

運動が不足しがちなこと。

■ 今後どのように仕事をしていきたいか

主に得意分野へ力を注ぐことで、専門性を高めていきたいです。



所在地 ● 大阪府豊中市桜の町4丁目2-12 資本金 ● 300万円
発注者概要 代表取締役 ● 岩見尚見 従業員数 ● 3名 在宅ワーカー数 ● 150名(2016年度実績)
URL ● <http://www.d-rallie.co.jp> 事業内容 ● 広告代理業、宝飾品・雑貨の卸・小売業等

女性の潜在能力を活かせる場を作りたい

～ プロ意識の向上とモチベーション向上が鍵～

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

素晴らしいキャリアを持ちながら潜在している子育て中の女性が家族を大事にしながら働ける場を作りたいと思い、2012年に創業しました。在宅ワーカー活用は当社のミッションでもあります。

Q | どのように在宅ワーカーを探しましたか？

在宅ワーカーと顔が見える関係を作りたいので必ず面接を行います。年1回、一斉プレゼンテーションの機会を設け1人3分の持ち時間で、過去の実績のほか、どんな働き方がしたいか、何ができるか、家族構成や家族状況、家族の理解が得られているかなどを発表していただきます。その中から優秀な方に登録していただくと同時に、プロとして依頼できるレベルにない方には3カ月の研修を受けていただき再チャレンジできる仕組みです。

Q | 在宅ワーカーに依頼する業務の内容は？

web制作・管理、グループインタビューのラ

イティングなどです。

Q | マッチング成功の秘訣は何ですか？

登録前や登録後に研修の機会を設け、仕事のスキルだけでなく、ビジネスマナーなども教えています。また、日々の業務連絡だけでなく、成功事例や、トラブルになりかけた例なども共有し、意思疎通やプロ意識向上に努めています。

Q | 在宅ワーカー活用のメリットは？

社会保障、社会保険料などのコストが削減できることです。また、潜在している優秀な労働力を社会とつなぐことは意義のあることと思っています。

Q | 在宅ワーカー活用のデメリットは？

子育て中の主婦が中心なので、急な子どもの病気などの際のリスクヘッジを常に考えなければならないことです。仕事に穴があかないよう、オールマイティに対応できるマネージャークラスの社員を育成しています。



在宅ワーカー向けにセミナーを開催



社内の様子

Q | 在宅ワーカー活用の課題は？

発注可能な仕事量が読めないことです。大量の案件があり在宅ワーカーが不足することもあるれば、案件が少なく一部のスキルの高い在宅ワーカーに発注が偏ることもあります。

Q | 在宅ワーカーとのコミュニケーションは？

登録ワーカーが少なかった頃は、電話が中心でしたが、人数が増えてからは電話では対応しきれなくなり、一斉同報できるチャットワークや SNS を活用しています。

Q | 在宅ワーカー活用成功の秘訣は？

在宅ワーカーの得意分野、発注頻度、納品実績、スキルレベルなどを社内でデータベース化することです。定期的にアップデートして管理していません。

Q | 過去にトラブルはありましたか？

とくにトラブルは発生していません。段階的にハードルや研修を設けることでプロ意識とモチベーションの向上に努めています。

Q | 在宅ワーカー活用の課題は？

日々改善しながら運営をしています。登録ワーカー数が増えてきたので個人情報の管理は大きな課題です。プライバシーマーク取得の手続きを進めています。また、たとえすべてリモートワークで完結するとしても、結局ビジネスは人対人なので、顔を見える関係を大切にしたいと思っています。

Q | 在宅ワークという働き方についてどう思いますか？

たくさんの方が状況に合わせて働ける選択肢の一つとして意味があることだと思うので、在宅ワーカーのほうも意識を高く持ちスキルアップしてチャンスを広げてほしいです。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 一斉プレゼンテーションで顔を見て判断する
- スキルだけでなくプロ意識を養成する
- リスクヘッジを常に考えておく

Worker's VOICE

【職種】 DTP オペレーター
さかさん(在宅ワーク歴：6年)

【使用ツール】 PC：Mac/Windows / ソフト：Adobe Cloud、QuarkXPress、FrameMaker、MS Office、Help Compiler、その他、DTPに必要なアプリ全般

- 時間も責任も収入も自分次第。
- その厳しさが面白い

■ 在宅ワークを始めた経緯

会社員時代、DTPのスキルがあったことから他社から仕事を依頼され、自分のスキルを活かせることに気づいたのがきっかけです。

■ 仕事を得るために心がけたこと

できないと言わないこと。口コミで仕事をくださる方にも、早い段階でできるだけ会うようにしました。

■ 仕事を継続する上で努力していること

ご要望に応えるものを納品すること。OS やアプリのバージョン互換性の保持。ソースの不具合によるデータの再構築(デバッグ)にも丁寧に対応すること。



■ 在宅ワークのメリット

時間の自由がきく。自分の判断で決められる。責任を背負える。働いた分だけ収入になる。

■ 在宅ワークのデメリット

大口案件にかかりきりになると、他社からの依頼を断ることが増える。急ぎの案件で徹夜になったり、週明けに納品を希望されると土日の休みがなくなる。

■ 今の発注者のよいところ

向上するかしないかは自分次第という緊張感があること。

■ 今後どのように仕事をしていきたいか

マネジメント能力を向上し、若い世代に技術を伝えたいです。

マッチング好事例集 ケース 10 ホームページテック株式会社

所在地 ● 兵庫県尼崎市昭和通2-6-68 資本金 ● 300万円
発注者概要 代表取締役 ● 香西正士 従業員数 ● なし 在宅ワーカー数 ● 1名(2016年度実績)
URL ● <http://bestpage11.com/> 事業内容 ● ホームページ制作、SEO対策のコンサルタント

自社にない技能を補完する即戦力として積極的に活用

～ 意思疎通には慣れと工夫が必要 ～

Q | 在宅ワーカー活用の経緯は？

弊社は、お客様が希望する検索キーワードで上位表示を保証する唯一のSEOコンサル型ホームページ制作会社です。これまで、低価格でサービスを提供するため、デザイナーを雇わず制作費を抑えていました。そのためSEOには強いもののデザイン面では弱いところがありました。

デザイン性を高め、よりインパクトのあるホームページを制作するために、デザインスキルのある在宅ワーカーを探すことにしました。

Q | 在宅ワーカーとのマッチングの方法は？

マッチングイベントに参加し、ここで出会った在宅ワーカー1名に、仕事を依頼することになりました。デザイナーは力量差があるので作品を見ないと採用の判断が難しいですが、マッチングイベントでは、在宅ワーカーが持参した作例を見ながら話のできたので、力量も人柄もわかってよかったです。

Q | 在宅ワーカーを活用したメリットは？

自社にない技能を補完してもらえること、従業員を雇う際にかかる社会保険料等のコストがかからないことです。

Q | 在宅ワーカーを活用したデメリットは？

顔を合わせることがないので、意思疎通が難しい点です。今回初めて在宅ワーカーに仕事を依頼しましたが、最初はお互いに慣れるまでは意思疎通がうまくいかず、手探りの感がありました。しかし、慣れていけば改善すると思っています。

Q | 在宅ワーカーを活用するにあたって事前にどのような準備を行いましたか？

誰に依頼しても、常に一定の品質が保てるよう制作マニュアルを作りました。

Q | 在宅ワーカーとのコミュニケーションは？

コミュニケーションソフト（チャットワーク）



1 | 在宅ワーカーとの打ち合わせにはシェアスペースを利用
2 | 自社ホームページ

とオンライン会議ソフト（TeamViewer）で意思の疎通を図っています。また、スカイプや電話でこまめに打ち合わせをし、いつでも問題点や疑問点を解決できるようにしています。

Q | トラブルが生じたことはありますか？

今回初めて在宅ワーカーに依頼をしたので、どのように依頼事項を伝えればいいのか、手探りでした。最初は、感覚的に依頼したのでこちらの意向とずれたデザインができましたが、2回目は具体的な指示を出すことで、最適なデザインを仕上げてもらうことができました。

Q | 在宅ワーカー活用のポイントは？

在宅ワーカーには即戦力を求めているので、自分の期待する能力があるかを見極めることが重要です。一から育てるのは難しいと思います。

また、依頼内容はなるべく具体的な言葉にすることです。コミュニケーションを密に取り、お互い助け合ってわかり合おうとすることも大事だと思います。

Q | 在宅ワーカーを今後も活用したいですか？

今後も戦力として積極的に活用していきたいと考えています。

Q | 在宅ワークという働き方についてどう思いますか？

子育てや介護でどうしても企業に雇用されて働くことが難しい方にとっては仕事の機会ができるというメリットがあると思います。発注側としても低コストで、専門スキルを持った方を活用できるのですごく助かります。

今後、働き方改革や介護問題などの社会背景から、増えていくのではないのでしょうか。

在宅ワーカー活用 ▶ 成功のポイント

- 過去の作品など実績を確認する
- 発注内容を具体的な言葉にする
- 詳しい制作マニュアルを用意する

Worker's VOICE

【職種】 webデザイン
M.Oさん(在宅ワーク歴：7カ月)
【使用ツール】 パソコン、Illustrator、Photoshop、DreamWeaver

- 後進のロールモデルとなる
- 働き方を開拓したい

■ 在宅ワークを始めた経緯

介護の負担が年々大きくなり、在宅で働けないか考えるようになった頃、マッチングイベントのことを知り、ポートフォリオ（作品集）を持って参加し、今の会社とつながりができました。

■ 仕事を継続する上で努力していること

仕事時間を決めてオン・オフを切り替えること。依頼内容はできるだけ文書にして残すようにしています。とくに、お金の話は先に確認するようにしています。

■ 在宅ワークのメリット

通勤時間がいらぬこと。雑用をしなくてよく本業に集中できること。家事をしながら仕事ができること。

■ 在宅ワークのデメリット

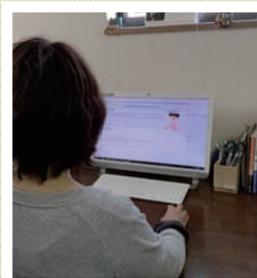
常に仕事のことが頭から離れないこと。

■ 今の発注者のよいところ

こちらの事情を知って、都合を聞いてくれること。

■ 今後どのように仕事をしていきたいか

介護のために在宅ワークに切り替える人は増えると思うので、後の人の模範となるよう働き方を開拓したいです。



●もっと詳しく知りたい方へ

在宅ワーカーのための ハンドブック

これから在宅ワークを始める方や在宅ワークを始めて間もない方に向けて、在宅ワークの実態から仕事の流れ、キャリアデザイン、トラブル対策など、安心して在宅ワークをするために必要な基礎知識をまとめています。



http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/zaitaku/100728-2.html

在宅ワークの適正な実施のための ガイドライン

在宅ワークを良好な就業形態とするために、在宅ワークの契約条件の文書明示や契約条件の適正化など、発注側が守るべき最低限のルールについて示したものです。



http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/zaitaku/100728-1.html